

25/01/2020 Sat

ついにこの日がやってきました。現地校に通うための一人一家庭のホームステイ先への移動日です。まずは全員が、Lower Hutt地区にあるSt. Bernerd's Collegeに集合します。ここまで2週間お世話になったファミリーが、生徒たちをここまで連れてきてくれました。もうすでに、涙のお別れになっている生徒もいます。たった2週間とはいっても、それだけ深く濃い繋がりができたんでしょうね。

St. Bernerd's College



今日のこのピックアップのために、現地校の1つであるSt. Bernerd's Collegeは、夏休み中であるにもかかわらず、canteen（キャンティーン・学食のような施設です）を提供してくださいました。NZの学校は休みは本当に休みですから、夏休み中にクラブ活動とかはありません。weekday（月～金）は学校に通い、weekend（土日）は自分の時間として自分で使う、それがこちらの標準的な生活です。この学校は中規模な天然芝のグラウンドを備えていますが、近所の方が犬の散歩に来ていました。建物は施錠されていますが、基本的にNZの学校は門も柵もないのが一般的なので、お休みの日は敷地内だけなら気軽に立ち入れます。

校庭です。NZ基準ではやや狭という感じですが、それでもパノラマモードにしないと収まりません。



ウェリントン中心部に近い学校と郊外の学校は、ここからいったんウェリントン駅にバンで移動して、そこから各ステイ先へと移っていくので一足先に出発です。6校13名の生徒がバンに乗り込みました。運転手さんのガスさんは、実はこの2週間のホストファーザーもしてくれた方なので、ついさっき大きなバンでステイさせてもらっていた生徒を連れてきて、お別れしたあとは、「よし、じゃあこのあとは仕事だ」て笑ってました。この2年間、視察でウェリントンを訪れた際は、いつもこのガスさんがドライバーを務めてくれていたんです。

ここまでのファミリーとのお別れ。出会いも別れも基本はハグです。



先発隊13名出発



13名を乗せたバン、後ろのカーゴにスーツケースが詰め込まれています。



canteenで30分ほどの待ち時間があるのですが、そこにアドバイザーさんがいればやはり生徒たちは色々と聞きたくなります。携帯電話の通話料を使いきりそうで、top up（日本でいうところのチャージです）について教えてもらったり、こんなときどういけばいいですかシリーズは、考え始めたらきりがありません。



Chips -----	\$3.00
Fish & Chips ---	\$5.50
Chicken Nuggets and Chips -----	\$5.50
Pasta -----	\$5.00
Chippies -----	\$2.00



↑canteenで待機中です。

←普段販売しているもののメニューなども貼ってありました。さすがに安いです。学生の味方です

そろそろ早いファミリーはやって来るだろうとのことで、全員で外に出て待つことにしました。女子生徒たちは、車が入ってきては「あのかっこいい車はきっと私だ!」、車から降りてきた人を見ては「お父さんかっこいい! きっと私だ!」「子どもたち可愛い。あれは私のファミリーだ!」と、よくもまあここまでテンション上げ続けられるものだと感心してしまうほどの大騒ぎですが、多分あんなふうに騒いでいないと、不安や期待や緊張が入り混じった複雑な感情を制御できないんでしょうね。男子たちは、ちょっと離れてまるで気配でも消すかのように、固まっていました。

出会いのハグ合戦



入ってくる車を見ては大騒ぎしてます



すでに13人移動済みで、昨日1名すでに移動を終えていますので、ここにいるのは20件分のピックアップです。30分ほどで全ファミリーのピックアップが終了しました。昨年はオークランドで日本人まとめて300人のピックアップを目のあたりにしていますので、本当にあっという間でした。

先発隊も各ファミリーピックアップが終わりました



生徒たちにはさんざん、真夏だからね、と言い続けてきたので、今年のウェリントンの寒さには私も驚いています。これから日差しも強くなり、気温も上がってくると期待して、NZの夏を満喫してください。

